

県政の動き

12月16日(火)～2月20日(金)

★は写真入りで紹介

12月16日(火)～1月25日(日)

日仏交流150周年・薩摩焼ハリ伝統美展
開催記念展

12月20日(土)～23日(火)

「薩摩焼」400年の伝統とハリを魅了した美

12月26日(金)

★県・県議会・経済界代表の台湾訪問
県緊急雇用対策会議

1月12日(月)

★九州・山口の近代化産業遺産群」
世界遺産シンポジウム

1月14日(水)

★桜島火山爆発総合防災訓練

1月16日(金)

中国・東莞可園中学校教育旅行学校交流

1月19日(月)

★知事と救急医療を語る会

1月19日(月)

★鹿児島城西高校サッカー部知事表敬訪問

1月21日(水)・23日(金)

★首都圏における「本格焼酎」などのPR

1月22日(木)

★上野・寛永寺での篤姫参り

1月22日(木)

薩摩大使会議・鹿児島島の夕べ

1月23日(金)

H11Aロケット15号機打上げ

1月31日(土)

琉球弧自然フォーラム in 奄美

2月1日(日)

★福祉の職場就職面談会

2月1日(日)

かごしま就農相談会

2月3日(火)

人権同和問題県民のつどい

2月15日(日)

女性の健康支援セミナー

2月19日(木)

南九州西回り自動車道建設促進鹿児島県大会

12月20日(土)～23日(火)

県・県議会・経済界代表の台湾訪問

12月20日から23日にかけて、伊藤知事が県議会や経済界の代表とともに、鹿児島と台北との間に昨年4月から就航している連続チャーター便を利用して台湾を訪問した。

台湾では、交通部や中華航空本社などを訪問し、鹿児島・台北線の早期定期化を要請。同社の

孫洪祥社長からは、実現に向け最大限努力したいとの強い意欲が示された。

また、西郷隆盛の子、西郷菊次郎が明治時代に庁長(知事)を務めた宜蘭(ギラン)県を訪問し、菊次郎の功績をたたえた「西郷庁憲徳政碑」などを視察したほか、現地百貨店の訪問などを通じ、今後の鹿児島と台湾のさらなる交流促進に対する協力を関係者に要請した。

1月12日(月)

「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産シンポジウム

旧集成館や異人館など本県の遺産を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」は、平成21年1月に世界遺産暫定一覽表に記載され、世界遺産登録に向けた第一歩を踏み出した。

これを受けて、本県など九州・山口の関係自治体で構成する協議会では、1月12日に鹿児島市で「世界遺産シンポジウム」を開催した。

約300人の参加者が、国内外の専門家の基調講演やパネルディスカッションに熱心に耳を傾けた。講師の1人、英国の専門家スチュアート・スミス氏は、自ら登録に関わった英国の世界遺産との比較も交えながら、九州・山口の遺産群

が持つ世界的な価値を力説した。

また、翌13日は、第1回専門家委員会が開催され、登録に向けた本格的な準備作業もスタートした。



1月14日(水)

桜島火山爆発総合防災訓練

桜島の大噴火に備えるための桜島火山爆発総合防災訓練を桜島溶岩グラウンドと鹿児島県隣接地を主な会場として実施し、警察、自衛隊、消防、自主防災組織など130機関・団体、約5000人が参加した。



「地域の安全は地域で守る(住民参加型の訓練)」をテーマに、桜島の大噴火や噴火による地震を想定して、自主防災組織を中心とした避難、婦人会や桜島中学校による炊飯支援、警察・自衛隊などによる合同救出救護など本番さながらの訓練を実施した。

この他、来場者を対象に救急救命講習や地震体験車による体験型訓練も行った。

1月19日(月)

知事と救急医療を語る会

救急医療の現場で尽力されている方々に集まっていただき、今後の救急医療について知事と率直な意見交換を行う、分野別知事と語る会「知事と救急医療を語る会」が、県庁特別会議室で開催された。

会では、「いかにして救急医療を守り、充実させるか」をテーマに、救急医療体制の整備、医師・看護師等医療関係者の人材確保、救急医療連携体制の構築など様々な提言があり、知事と熱心に意見交換した。



1月19日(月)

鹿児島城西高校サッカー部 知事表敬訪問

第87回全国高校サッカー選手権大会で準優勝した城西イレブンが準優勝の報告をするため銀メダルを胸に、伊藤知事を表敬訪問した。

知事は「準優勝はうれしい限り。県民も試合を見て元気をもらいました。はつらつしたプレーをみせてくれてありがとう」と祝福した。安田啓優主将が「準優勝はいい経験になったし、多くの人が支えられていたことがよくわかりました。後輩のチームが日本一を目指し頑張ると思うので応援よろしくお願いします」とお礼を述べた。



1月21日(水)・23日(金)

首都圏における「本格焼酎」などのPR

1月21日、東京・有楽町の日本外国特派員協会(FCCJ)において、「FCCJ Kagoshima Night 鹿児島の本格焼酎と料理を楽しむ夕べ」が開催され、伊藤知事が、外国特派員など約150人に対して、鹿児島の本格焼酎や食の魅力のPRを行った。



日本外国特派員協会におけるPR



アリオ亀有店・来店者への抽選プレゼント

また、1月21日から25日まで、イトーヨーカドーの首都圏45店舗で、「鹿児島フェア」が開催されるのに併せて、23日、アリオ亀有店において、知事が県酒造組合副会長、県経済連合会長、県漁連会長とともに、本格焼酎や農林水産物、観光のPRを行うとともに、流通関係者との意見交換を行ったほか、日本百貨店協会に対し、県産品の販売協力を要請するなど、トップセールスを行った。

1月22日(木)

上野・寛永寺での篤姫墓参り

NHK大河ドラマ「篤姫」の放送終了に伴い、鹿児島県観光誘致促進協議会など観光関係者が、東京上野・寛永寺で篤姫と第十三代将軍徳川家定の墓参りを行った。伊藤知事ら14人は、



篤姫と夫家定の墓前で焼香し、「篤姫」観光キャンペーンの成功に感謝した。
住職によると今年も、篤姫人気で多くの方がお参りに訪れているという。



2月1日(日)

福祉の職場就職面談会

県と県社会福祉協議会は、ハローワークとの共催により一般求職者や今春大学等卒業予定者を対象とした福祉職場の就職面談会を開催した。

この就職面談会は、人手不足が深刻な福祉職場への人材確保と就職希望者の就職支援を目的として、夏の「福祉・保健医療職場就職ガイダンス」と共に、この時期に開催している。

会場のかごしま県民交流センターでは、当日47社の事業者と235人の来場者が集まり、就職面談や求職登録、情報提供や各種相談などが行われた。

